

学校法人 法泉寺学園  
平成30年度 事業報告書

共働きが一般化しつつある中、共働き家庭の子どもの受け皿となる施設の整備が求められている。更に、これまで公立であった「箕面市立東幼稚園」が、民営化され「ひじりひがし幼稚園」として平成28年度よりオープンしており、これまで私立が当園1園だった箕面市東部において選択肢が広がっている。

また、保育園や認定こども園に勤務する職員への処遇改善（給与改善）が充実している一方、幼稚園のそれは遅々として進んでおらず、このまま幼稚園にとどまっていると人材確保に多大な影響を及ぼす可能性が大きくなってきた。

以上の諸事情を鑑み、粟生幼稚園が保護者からも働き手からも選ばれる園として残っていくため、平成31年度から幼稚園型の認定こども園へ移行するための準備を進めた。

課題

- ① 平成31年度幼稚園型認定こども園への移行の手続き
- ② 人材確保
- ③ 保育内容の見直し

計画

- ① 専業主婦・共働きのいずれの世帯からも選ばれる園であるため、また、国の処遇改善補助金を獲得して優秀な人材を確保するため、平成31年4月より幼稚園型認定こども園に移行するため、箕面市に提出する書類作成や折衝などをよつば社会労務士事務所にお手伝いを頂きながら進め、無事に完了した。
- ② 幼稚園型認定こども園は、幼稚園がこれまでの幼稚園の機能（短時間の教育機能）に加えて保育園の機能（長時間の保育機能＋地域の子育て支援機能）を持つことになり、教職員及び事務員の人材確保が必須となるが、人材紹介会社の協力や職員からの紹介などにより、優秀な人材確保ができた。
- ③ 幼稚園型認定こども園への移行することで、平日に代休が取れなくなったり長時間幼稚園に滞在する子どもが増える。そうした変化に対応するため、保育時間や保育内容・職員の体制を見直した。箕面市に確認をとりながら主任を中心に準備を進め、新学期を迎えることができた。